

### 実態調査の目的

○ 保育所等への移行支援を含むインクルージョン推進の取組実態を詳細に把握することを目的として、下記に挙げる事項を実施する。

#### テーマ①: 児童発達支援事業及び放課後等デイサービスにおける移行支援の取組状況調査

児童発達支援事業や放課後等デイサービスにおける移行支援(併行通園等の事例提供・提案や実現・継続のサポート)に係る保護者等の意向の把握から保育所等への定着支援に至るプロセスについて、好事例の把握等を行い、その共通点等について取りまとめを行う。

#### テーマ②: インクルージョン推進に関する市町村の取組状況調査

障害児の移行支援にあたり、市町村が保育所等へのつなぎを目的として実際に行っている取組や、インクルージョンを推進するための周知・啓発・協議の実施状況等、市町村の取り組み状況について取りまとめを行う。

#### テーマ③: 保育所等訪問支援の実施状況調査

児童発達支援センター等が保育所等訪問支援として地域の保育所・幼稚園や放課後児童クラブ、児童養護施設等に向けて行う障害児(及び家族)の支援に関する専門的支援・助言の実施状況について、個々の支援対象や実施時期、具体的な支援方法等や属性による差異の状況を含めた詳細を把握する。

### 実態調査の概要

#### 【事業実施機関】

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

#### 【調査実施期間】

令和4年10月3日～令和4年10月21日

※なお、当該速報集計結果については令和4年10月末時点の速報値であり、データについては変動がある。詳細は令和4年度末の事業報告書を確認いただきたい。

#### テーマ①: 児童発達支援事業及び放課後等デイサービスにおける移行支援の取組状況調査

【調査対象】	・児童発達支援事業所(悉皆) ・放課後等デイサービス事業所(悉皆) ・児童発達支援センター(悉皆)
【調査方法】	調査専用ウェブサイトを用いたウェブ調査(記名式)
【回答事業所数】	4,823事業所

#### テーマ②: インクルージョン推進に関する市町村の取組状況調査

【調査対象】	全国の市区町村(悉皆)
【調査方法】	電子調査票(Excel形式)の配布、回収による電子調査(記名式)
【回答自治体数】	542自治体

#### テーマ③: 保育所等訪問支援の実施状況調査

【調査対象】	保育所等訪問支援を実施している事業所(悉皆)
【調査方法】	調査専用ウェブサイトを用いたウェブ調査(記名式)
【回答事業所数】	432事業所

# テーマ①：児童発達支援事業及び放課後等デイサービスにおける移行支援の取組状況調査（速報集計結果）

（10月末時点の速報値）

## ① 移行支援の実施状況（回答事業所全体の利用児童のうち、移行支援の対象者（右下の表4項目に該当する児童）と考えられる児童）

全体：63,889人

移行支援の実施状況は「現在、併行通園等を実施している子どもの数」が多かった。

※令和4年9月1日時点

	合計 (児童数)
現在、併行通園等を実施している子どもの数 ※	44,619
現在、併行通園等を行っていないが、併行通園等に向けた支援、移行支援を行っている子どもの数 ※	3,254
令和3年度中に就学・進学時の移行に向けた支援を行った子どもの数	13,235
令和3年度中に移行支援を経て貴事業所を退所し、保育所または放課後児童クラブ等に入所した子どもの数	2,781

## ② 併行通園等の形態（上記①で、「現在、併行通園等を実施している子ども」と回答のあった子どもについて）

全体：44,331人

移行支援の実施状況についてみると「一日の中で最初は併行通園先、その後貴事業所で過ごす」が最も多く、次いで「一日中、事業所または併行通園先のどちらかで過ごす」、「一日の中で最初は貴事業所、その後併行通園先で過ごす」であった。

	合計 (児童数)
一日中、事業所または併行通園先のどちらかで過ごす	12,709
一日の中で最初は貴事業所、その後併行通園先で過ごす	5,881
一日の中で最初は併行通園先、その後貴事業所で過ごす	16,743
時間帯は特に決まっていない	3,882
その他	5,116

## ③ 併行通園等を開始した時期（上記①で、「現在、併行通園等を実施している子ども」と回答のあった子どもについて）

全体：40,976人

	合計 (児童数)
事業所の利用開始時点から	34,718
事業所の利用を開始してから	6,258

# テーマ①：児童発達支援事業及び放課後等デイサービスにおける移行支援の取組状況調査（速報集計結果）

（10月末時点の速報値）

## ④ 令和3年度中の保育・教育等移行支援加算（※）の算定件数

※障害児が地域において、保育・教育が受けられるよう支援を行うことにより、事業所を退所して保育所等に通うことになった場合  
500単位/回（1回のみ）

	件数 （事業所）
0件	3,428
1件	22
2件	14
3件以上	38
無回答	1,310
非該当	11
全体	4,812

## ⑤ 令和3年度中の関係機関連携加算 I（※）の算定件数

※保育所や学校と連携して個別支援計画等を作成を行った場合 200単位/回（月1回を限度）

	件数 （事業所）
0件	3,031
1件～5件	319
6件～10件	88
11件以上	163
無回答	1,211
非該当	11
全体	4,812

## テーマ②：インクルージョン推進に関する市町村の取組状況調査(速報集計結果)

(10月末時点の速報値)

### ① 障害児通所支援サービスと地域の保育所・幼稚園等を併行して利用すること(併行通園)について、何らかの制限を設けているか

#### ○ 未就学児

就学児は「設けていない」(90.6%)が最も多く、次いで「設けている」(5.5%)、「分からない」(2.6%)であった。

	件数 (自治体)	割合
設けている	30	5.5%
設けていない	491	90.6%
分からない	14	2.6%
無回答	7	1.3%
全体	542	100%

#### ○ 学齢児

学齢児は「設けていない」(89.3%)が最も多く、次いで「分からない」(5.7%)、「設けている」(2.8%)であった。

	件数 (自治体)	割合
設けている	15	2.8%
設けていない	484	89.3%
分からない	31	5.7%
無回答	12	2.2%
全体	542	100%

### ② 地域全体における障害児のインクルージョン推進の機運醸成に向けて、自治体として意識的に取り組んでいることがあるか

自治体として意識的な取組の有無については「ない」(85.6%)、「ある」(13.1%)であった。

	件数 (自治体)	割合
ある	71	13.1%
ない	464	85.6%
無回答	7	1.3%
全体	542	100%

# テーマ③: 保育所等訪問支援の実施状況調査(速報集計結果)

(10月末時点の速報値)

## ① 訪問支援員数(合計人数)

事業所における訪問支援員の合計人数は、2～3人(34.5%)が最も多く、次いで1名(22.7%)であった。

	件数 (事業所)	割合
1人	98	22.7%
2人～3人	149	34.5%
4人～5人	79	18.3%
6人～10人	71	16.4%
11人以上	35	8.1%
全体	432	100%

## ② 訪問支援員の経験年数

訪問支援員の経験年数の中央値は3年であった。

## ③ 訪問時の体制

	件数 (事業所)	割合
1名を基本としている	327	75.7%
複数名を基本としている	82	19.0%
無回答	23	5.3%
全体	432	100%

## ④ 令和3年度の訪問先施設の種類の対象児童数実績(実人数)

全体: 5,320人

令和3年度における、訪問先施設別の対象児童数についてみると、「保育所等」が回答事業所合計で1,687人と最も多く、次いで「小学校・中学校」(同1,683人)、「幼稚園」(同853人)であった。

	合計 (対象児童数)		合計 (対象児童数)
保育所	1,687人	特別支援学校(小・中)	178人
幼稚園	853人	特別支援学校(高)	40人
認定こども園	769人	乳児院	2人
放課後児童クラブ	35人	児童養護施設	7人
小学校・中学校	1,683人	その他	66人

# テーマ③：保育所等訪問支援の実施状況調査（速報集計結果）

（10月末時点の速報値）

## ⑤ 支援の実施頻度および訪問1回あたりの支援提供時間別の児童数（※）

【回答件数】299件（事業所）  
4,106人分

支援の実施頻度および訪問1回あたりの支援提供時間別の児童数についてみると、回答事業所合計で、「月1回～2回未満／1時間～2時間未満」が809人（19.7%）と最も多く、次いで「月0.5回未満／1時間～2時間未満」（687人、16.7%）であった。

※いずれかの区分に1名以上の回答があった事業所についての集計結果

	月0.5回未満	月0.5回～1回未満	月1回～2回未満	月2回～3回未満	月3回以上
～1時間未満	348人（8.5%）	113人（2.8%）	260人（6.3%）	28人（0.7%）	10人（0.2%）
1時間～2時間未満	687人（16.7%）	345人（8.4%）	809人（19.7%）	133人（3.2%）	118人（2.9%）
2時間～3時間未満	442人（10.8%）	138人（3.4%）	222人（5.4%）	31人（0.8%）	73人（1.8%）
3時間～4時間未満	122人（3.0%）	47人（1.1%）	63人（1.5%）	17人（0.4%）	7人（0.2%）
4時間以上	67人（1.6%）	5人（0.1%）	14人（0.3%）	3人（0.1%）	4人（0.1%）

## ⑥ 保育所等訪問支援の具体的な内容

保育所等訪問支援の実施状況を具体的な内容別にみると、【ほぼ毎回実施】と回答した事業所が8割以上を占める項目は「行動観察」（83.1%）、「環境把握」（81.3%）、「保護者への報告」（80.6%）であった。

	ほぼ毎回実施	半数程度で実施	必要に応じて時々実施	あまり実施しない	無回答	全体（事業所）
行動観察	359	7	10	29	27	432
	83.1%	1.6%	2.3%	6.7%	6.3%	100%
環境把握	351	9	18	27	27	432
	81.3%	2.1%	4.2%	6.3%	6.3%	100%
子ども本人への支援	212	36	99	58	27	432
	49.1%	8.3%	22.9%	13.4%	6.3%	100.0%
訪問先職員への支援	262	38	66	39	27	432
	60.6%	8.8%	15.3%	9.0%	6.3%	100%
保護者への報告	348	12	17	28	27	432
	80.6%	2.8%	3.9%	6.5%	6.3%	100%
カンファレンス	199	29	129	48	27	432
	46.1%	6.7%	29.9%	11.1%	6.3%	100%
報告書作成	334	10	23	38	27	432
	77.3%	2.3%	5.3%	8.8%	6.3%	100%
その他	29	2	12	58	331	432
	6.7%	0.5%	2.8%	13.4%	76.6%	100%